

地域貢献への取組み

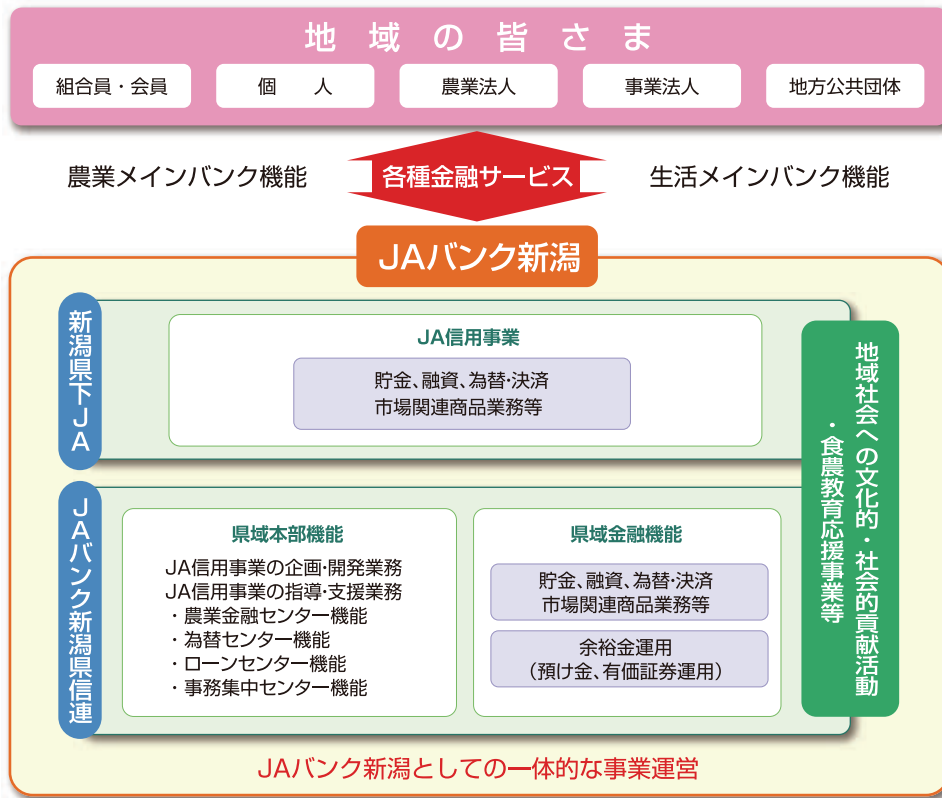
当会は、新潟県を事業区域として、県内のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を原資としています。当会では資金を必要とする農家組合員の皆さまや、JA・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいています。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

■ 地域経済への貢献



地域からの資金調達 (平成25年3月末)

■ 貯金残高 (単位:億円)

県下JA計		JAバンク新潟県信連	
区分	残高	区分	残高
組合員	17,020	組合員	14,236
地方公共団体等	884	地方公共団体等	42
その他	3,368	その他	253
合計	21,272	合計	14,531

地域への資金供給 (平成25年3月末)

■ 貸出金残高 (単位:億円)

県下JA計		JAバンク新潟県信連	
区分	残高	区分	残高
組合員	4,314	組合員	610
地方公共団体等	1,044	地方公共団体等	378
その他	496	その他	1,091
合計	5,856	合計	2,081

※貸出による地域への資金供給のほか、新潟県債、新潟市債の引受により地域の発展に貢献しています。

■ 地域密着型金融への取組み(中小企業等の経営改善および地域活性化のための取組みを含む)

JAバンク新潟(当会および県下JA)では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク新潟中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

農業メインバンク機能強化への取組み

■ JAバンク新潟の農業資金

JAバンク新潟では、農業者向け資金を幅広くご用意し、新潟県農業の発展を多面的に支援しています。

平成24年度からの国の施策・JAグループの取組みを踏まえ、担い手に対する金融面での支援を継続・強化するための「担い手支援資金(愛称:アグリ1)」の新たな創設等をはじめとした農業資金メニューの拡充や「農業法人経営者セミナー」の開催、営農指導部門との連携体制の構築等による金融対応力強化を図り、新潟県における農業メインバンクとして、農業者の皆さまを幅広く支援しています。

さらに、平成24年の豪雪により被害を受けられた農業者への対応として「平成24年豪雪災害等復旧支援資金」を創設し、平成24年4月の暴風被害および同8月の暴風・豪雨・降ひょう災害についても本資金でいち早く対応し、農業専門金融機関として農業者に対する円滑・迅速な資金対応に努めています。

また、JAグループ新潟では、上記資金をはじめとする農業者向け資金の一部に対して利子補給事業を実施し、農業者の実質金利負担の軽減を図っています。

(平成25年3月末)

主な資金	当会および県下JAでの取扱い		資金の内容
	件数	残高(百万円)	
農業生産資金	1,042	3,184	農業経営の合理化を図るために必要な資金
アグリマイティー資金	2,900	16,192	農地取得等、幅広い資金用途に長期に対応できる資金
農業近代化資金	540	5,009	機械・設備の取得等、農業経営の近代化を図るために必要な長期資金
農機具ローン	5,598	7,244	農機具の購入等に必要な資金
担い手支援資金(愛称:アグリ1) (23年度までは担い手支援対策資金)	1,196	2,947	担い手に対する農業生産に直結する設備・運転資金
平成22年度 緊急農業経営安定対策資金	1,189	959	平成22年産米の猛暑等による品質低下等に伴う経営の安定化に必要な資金
平成23年 地震災害等復旧支援資金	163	330	長野県北部を震源とする地震等による被害に対応し、経営の早期再建に必要な資金
平成24年 豪雪災害等復旧支援資金	203	261	平成24年の豪雪災害(暴風被害含む)による被害に対する復旧に必要な資金
スーパーL資金	1,341	9,209	認定農業者が経営改善に必要な長期資金
にいがたアグリビジネスローン	50	432	農業法人、農業関連法人の経営に必要な資金
農業関連事業資金	11	1,504	会員等に対する農業関連の事業資金
農業関連系統当座貸越	4	38,785	農産物販売代金の支払資金
その他農業資金	3,057	9,132	スーパーSおよび農業災害対策資金等
合計	17,294	95,196	

■ 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク新潟では、地域の農業者との関係を強化するための体制整備に取り組んでいます。

県内26JAでは、本支店に設置された47人の「担い手金融リーダー」と103人の「農業融資相談員」を中心に、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。

当会では、「県域農業金融センター機能」の構築・発揮によるJAの取組みサポートとして、農業部が中心となり、農業者からの相談のバックアップやJAとの協調融資などに取り組んでいます。

地域貢献への取組み

■ JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との連携を強化しています。当会では、JA新潟中央会やJA全農にいがたと連携して、営農・経済事業担当者を含めた合同会議や研修会を開催するなど、JA内における事業間連携の強化を支援しています。

〔具体的取組事例〕

●「第3回農業融資相談員・TAC^{タック}連携強化セミナー」の開催（平成24年10月実施）

農業融資相談員、担い手金融リーダー「TAC(タック)」、経済渉外担当者などの担い手に出向く担当者を対象に、担い手への対応や出向く体制のあり方を見つめ直し、JAにおける信用部門と営農・経済部門の連携の有効性・必要性の確認や情報交換を目的にJA全農にいがたと共催でセミナーを実施しました。

【農業融資相談員とは】

農家の皆さまや農業法人などへの農業融資に対応するために、各JAの営農部門および信用部門にそれぞれ設置されている相談員。平成17年からはさらに、農業融資相談員の中から「担い手金融リーダー」を設置し、役割の強化を図っています。

【TAC(タック)とは】

JA全農が推進する「地域農業の担い手に出向くJA担当者」の愛称。担い手を訪問し、JAとのパイプ役となるとともに、担い手の経営に役立つ情報を提供するなどの経営支援を務めます。

ライフサイクルに応じた担い手支援

■ 新規就農者の支援

JAバンク新潟では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

■ 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

JAバンク新潟では、農業者の経営再建を支援するため、「負債整理資金」をはじめとする負債整理のための資金を取り扱っています。

■ 講演会・セミナーの開催

新潟県農業の担い手として活躍している農業法人等、大規模農業者の一層の発展に向けた経営安定化支援策の一環と、参加者同士の情報交換、ネットワークづくりの場を提供することなどを目的として平成19年度から「農業法人経営者セミナー」を開催しています。第6回目となる平成24年度は、県外の農業法人等より講師を招き、多くの法人組織、関係団体の皆さまからご参加いただきました。

セミナー名	第6回農業法人経営者セミナー
主催者	JAバンク新潟県信連
参加者数	約190名
講演内容	<p>【第一部】 「大規模水稲経営体の展開と地域農業資源の管理-北陸水田地帯の大規模経営体の取組から-」 社団法人JC総研 研究員 大仲 克俊 様</p> <p>【第二部】 「農地集積に対する経営課題と今後の展開について」 農事組合法人サカタニ農産 代表理事 奥村 一則 様</p>



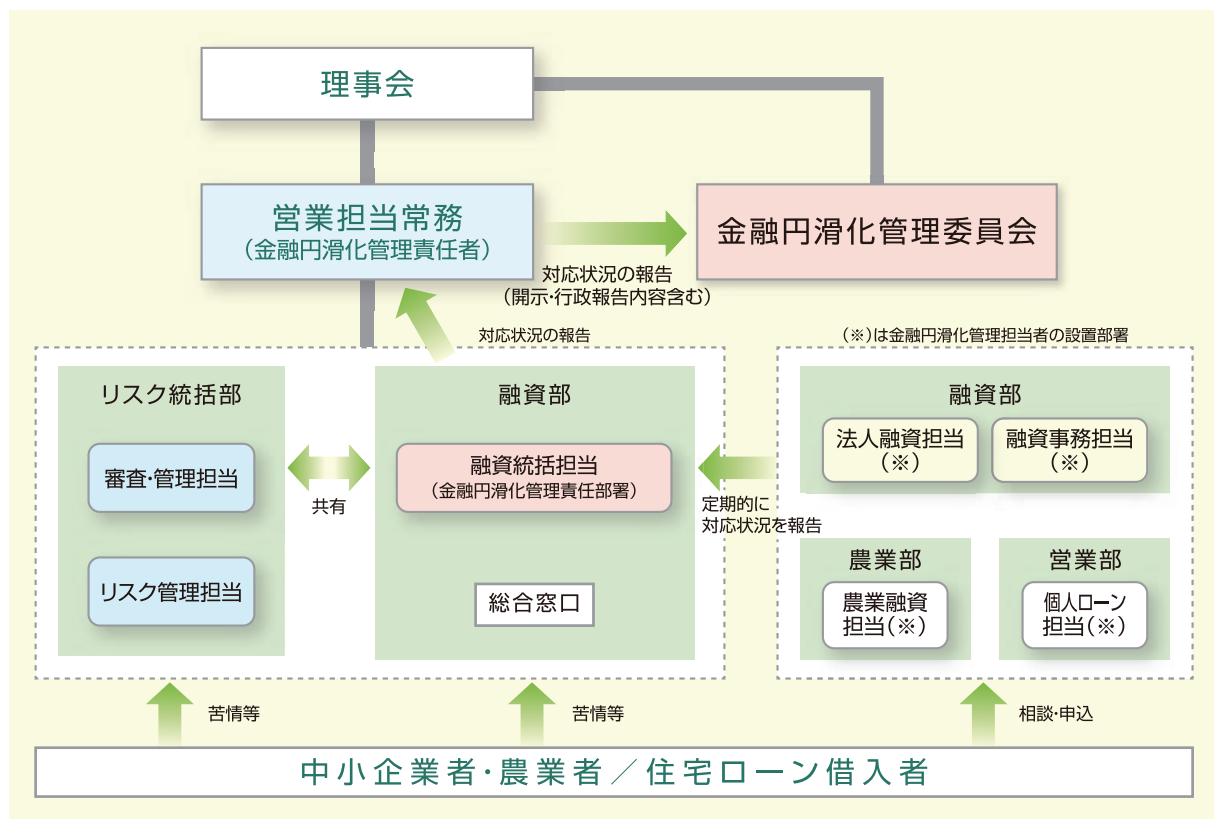
第6回農業法人経営者セミナー

■ 中小企業者等の経営支援に対する取組み方針

当会は、「金融円滑化にかかる基本的方針」を定め、経営不振の地場企業や農家等の経営改善に向けて関係機関や他の金融機関等と連携し、積極的に支援しています。

平成25年3月末までに、1,777件、6,394百万円の各種経営支援を実施しました。

■ 中小企業者等の経営支援に対する態勢整備



地域貢献への取組み

■ 文化的・社会的貢献活動(CSRの取組み)

当会は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の一員として、広く地域社会の発展と地域の皆さまの豊かな暮らしづくりを願い、文化的・社会的貢献活動に積極的に取り組んでいます。

公益信託「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」

高齢化社会の到来を踏まえ、高齢者に対する在宅福祉サービスの主な担い手であるホームヘルパーを支援・育成する活動に対し積極的に助成していくことを目的として、平成10年に「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」(信託財産1億円)を設立しました。

この基金は、新潟県内の社会福祉法人やボランティア団体等を助成対象者とし、ホームヘルパーの活動および当該活動を支援する設備等を対象としています。

第15回目となった平成25年4月の贈呈式では、県内の社会福祉法人やボランティア団体等11団体に約624万円の助成金を贈呈しました。

※助成実績累計:169団体、約8,573万円

なお、平成25年3月には、信託財産に5千万円を追加拠出し、今後も継続して支援できる体制づくりを実施しました。



「一般社団法人 ななふく福祉会 渡辺理事(左)に目録を贈呈する星野 運営委員会委員長(右)」

「エコ定期貯金」の受入を通じた、環境保全団体への寄付金の贈呈

平成23年度より、農業の振興を通じた「環境保護」の推進の一環として実施している「エコ定期貯金」は、環境への意識が高まるなか、貯金の受入を通じてお客様の間接的な環境保護への参加を支援することで、郷土の自然環境保護に貢献することを目的としています。

多くの皆さまから趣旨にご賛同いただいた結果、平成24年度は9,577,959円を公益社団法人「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」に寄付することができました。

また、平成25年度も本定期の取扱いを継続しています。

「アルビレックス新潟」サッカー観戦チケットの寄贈

新潟県障害者スポーツ協会へ、サッカーJ1・アルビレックス新潟のホームゲーム招待券を寄贈しています。平成24年度は、計20試合、318名を招待しました。

JAバンク食農教育応援事業

JAバンクでは、平成20年度から子どもたちに食農教育等の取り組みを実践する「JAバンク食農教育応援事業」を展開しています。

この事業の一環として、子どもたちが食と環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、小学校高学年を主な対象として「農業とわたしたちの暮らし」と題した食農教育の補助教材本を県下の全小学校に贈呈しています。

また、JAによるさまざまな食農教育活動への助成も行っています。



食農教育補助教材本

「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛 県内在住留学生と県内への震災被災者の招待

地域の文化振興を応援するため、公益財団法人新潟県文化振興財団が主催する「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛を行っています。

なお、文化交流の振興を支援する目的から、県内在住留学生を公演に招待し、日本の伝統文化に触れてもらう活動にも取り組んでいます。平成24年度は計19カ国、118名の留学生を招待しました。

また、平成24年度は、東日本大震災の影響で県外から新潟県内に避難されている方々も招待し、101名からご鑑賞いただきました。



情報誌「Sole!にいがた」の発行

当会では、農商工連携を促進する一環として、フリーペーパー形式の情報誌「Sole!にいがた」を平成22年7月に創刊、年4回発行しています。

この情報誌では、県内の農業や産業に関する幅広い情報の提供により、「農」を基軸としたコミュニケーションを通して、農業生産者・JAグループと地域の企業、さらには広く地域の皆さまとの結び付きを強め、新たなビジネスチャンスを創出するきっかけづくりを目指しています。



ホームページにも「Sole!にいがた」の専用ページを開設しています。 [新潟県信連](#) [検索](#)

文化情報誌「カルチャーにいがた」への協賛

県内の文化情報の発掘と発信を目的として、公益財団法人新潟県文化振興財団が発行する文化情報誌「カルチャーにいがた」に広告協賛を行っています。「愛する郷土の文化を広く紹介する」という趣旨に賛同しています。



文化情報誌「カルチャーにいがた」

地域貢献への取り組み

「愛の献血」inJAバンク新潟県信連

新潟県赤十字血液センターのご協力により、平成11年度から継続的に団体献血を実施しています。平成24年度は年2回の献血を実施し、137名の職員が協力しました。



献血当日の様子

役職員のボランティア活動への参加 地域清掃活動

新潟市が主催する地域清掃活動に毎年参加しています。平成24年度は、各地で開催された清掃活動に合わせて92名の職員が参加しました。

地域行事への参加

「新潟まつり大民謡流し」等の地域行事に地域の一員として積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を大切にしています。

「協同組合まつり」等協同組合間提携による健康で豊かな地域社会づくり

生協、漁協、森林組合等と提携を結び、協同組合の一員として、生産者と消費者との強い結びつきによる安全・安心・安定的な食料生産と供給、そして調和のとれた美しく住みよい地域社会づくり、さらに環境問題等に取り組んでいます。

エコキャップ運動への参加

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。

環境への取り組み

電気自動車等の各種エコカーを業務車両として導入したことをはじめ、ビル内のLED照明への切替えによる省エネ化、クールビズの実施等、地球温暖化防止対策、節電対応に積極的に取り組んでいます。



導入した電気自動車

■ 利用者ネットワーク化の取り組み

お取引いただいている利用者の皆さまへの有益な情報の提供や利用者間の相互交流を深める目的で、様々な活動に取り組んでいます。

■ 融和会

当会の融資お取引先企業を会員として、会員相互の情報交換や異業種交流を目的に運営しています。

県下一円を対象とした会であり、会員相互のネットワークづくりのお手伝いをしています。(現在の会員数:117社)

■ JA年金友の会

県内JAでは、年金友の会等、組合員および利用者の皆さまの相互交流や健康増進に向けた活動を行っています。

■ JA年金・ローン相談会

組合員および利用者の皆さまの生活設計のお手伝いをさせていただくために、各種相談会を定期的開催しています。